



# 生活クラブ風車



# 夢風News

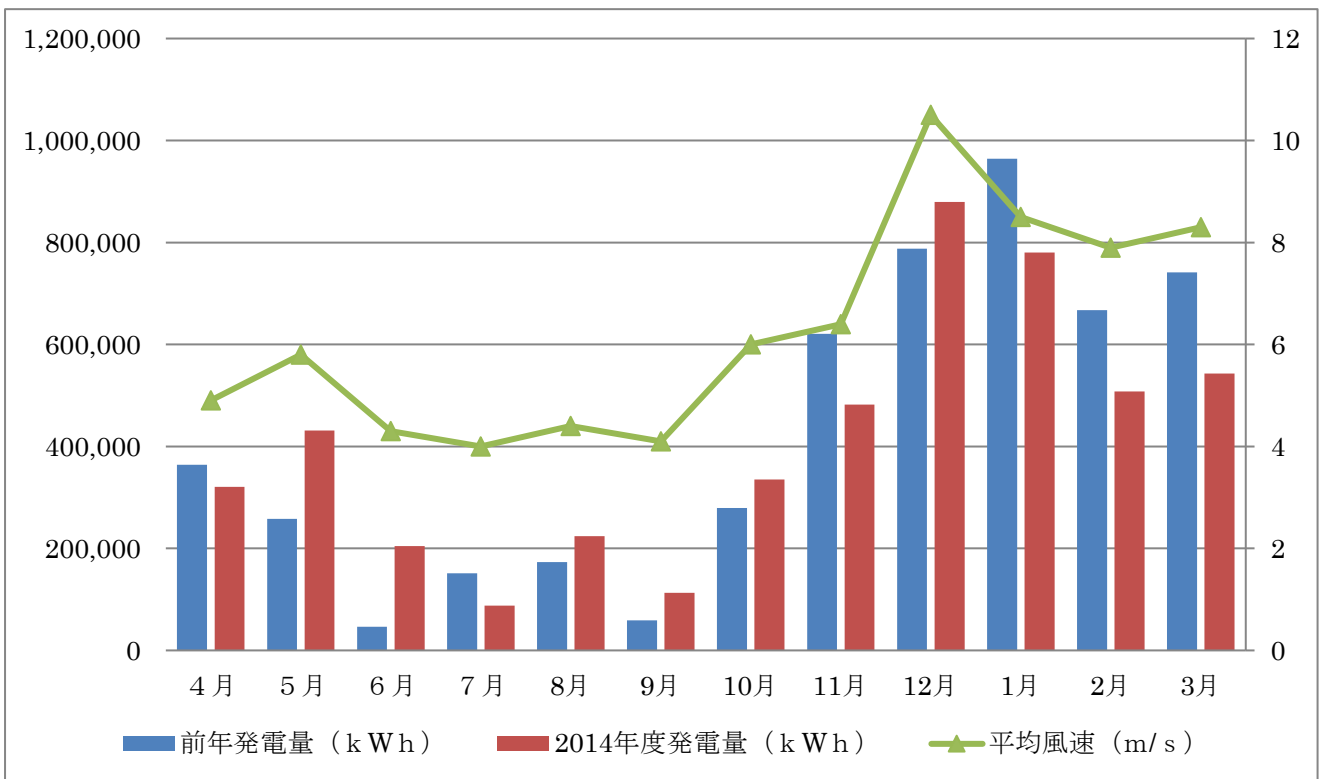
Vol.34

●発行 2015. 4. 15 一般社団法人グリーンファンド秋田

●発行責任者 半澤彰浩（代表理事） ●編集責任者 鈴木伸予

## ■ 2014年度 発電実績 ■

	発電量 (kWh) 【前年比】	平均風速 (m/s)	設備利用 率 (%)		発電量 (kWh) 【前年比】	平均風 速 (m/s)	設備利用 率 (%)
4月	320,524 【88.0%】	4.9	22.4	10月	335,268 【120.2%】	6.0	22.6
5月	431,507 【167.3%】	5.8	29.1	11月	481,824 【77.6%】	6.4	33.6
6月	201,904 【440.5%】	4.3	14.3	12月	879,287 【111.6%】	10.5	59.4
7月	87,899 【58.0%】	4.0	5.9	1月	780,558 【80.9%】	8.5	52.7
8月	223,914 【129.3%】	4.4	15.1	2月	507,740 【76.1%】	7.9	38.0
9月	112,694 【191.3%】	4.1	7.9	3月	452,702 【73.2%】	6.3	28.1



○ 3月は3年次点検を実施した影響で、稼働率が低くなっています。3年次点検は最も点検する項目が多く、そのため停止する日数も多く稼働率低下の要因となりました。

## ■ 2014 年度年間発電実績

### 1. 発電状況

	発電量	売電量	平均風速	稼働率	設備利用率
14 年度	4,908,821 Kwh	4,682,089 kwh	6.25 m/s	90.95 %	28.14 %
13 年度	5,112,955 Kwh	4,891,364 Kwh	6.3 m/s	90.50 %	29.30 %
前年比	96.0 %	95.7 %	99.2 %	100.4 %	96.0 %

#### 【解説】

総じて、3 月度の実績の差が年間実績の差に表れたと思います。もう少し掘り下げると、11 月から 3 月の風況の良い 5 ヶ月間の設備利用率が昨年の 52.3% に対し、今年度は 44.0% と 15.8% も低下した事が大きく実績に影響しました。

### 2. 発電実績

昨年度は増速機の故障で 6 ヶ月間の出力制限がありましたが、年間の総発電量は前年実績を超過しました。

今年度は、エラーや故障による長期停止は殆どありませんでしたが、3 年次定期点検や東北電力からの解列（\*23 日）など停止する日数の増加で設備利用率が低下し、前年比実績は 96% に留まりました。

\*2013 年度の解列は 10 日でした。



今年も、風車サイトのベンチの前と変圧室の横に、水仙がきれいに咲いていました。毎年、春に、どなたかが植えて下さっているのでしょうか。大変、ありがとうございます。厳しい冬を超えた夢風に、ほっと春の優しさを感じさせていただいております。

## ■夢風ブランド開發生産者連絡会報告

3月26日、にかほ市で2014年度第5回の生産者連絡会を開催しました。

この連絡会は、昨年7月に、(有)三浦米太郎商店の三浦さんを代表に、にかほ市の特産品の生産者10団体で立ち上げ、生活クラブとの特産品の取組をすすめています。

昨年2014年度は、初めてのデポーにかほフェアの取組や、東京・埼玉単協での共同購入などへの提案、生活クラブ指定原材料への切り替えなどを検討、実施しました。2015年度は、この間の取り組みをもう一步すすめて広げることにチャレンジします。その一つは、夢風ブランド品の企画です。伊藤製麺所の象潟うどん、佐藤勘六商店のいちじく、(株)飛良泉本舗の日本酒、日南工業(株)の鱈しょつつるをテーマに、東京・神奈川・埼玉・千葉の組合員と共に生活クラブオリジナル品の企画に取り組むことを確認しました。また、デポーにかほフェアの取組についても、今年度は東京・神奈川・千葉の全41デポーでの実施へ広げて実施することを確認し、品目提案を頂くこととしました。



また、3月27日に、夢風の建設地の芹田地区の営農組合で、加工用トマトの栽培についての学習会を開催しました。コーミ(株)の相馬氏を講師に、生活クラブのトマトケチャップができるまでの工程や、国産原料トマトの現状についての説明を頂きました。会場となった芹田自治会館には、地区の女性の方々や農協、市役所の方など20名以上も集まり、関心の高さを感じました。学習会の後、今年、営農組合で実験栽培に取り組むことを決定し、準備をすすめています。

## ■にかほ市と生活クラブとの連携推進協議会開催報告

4月13日、第3回連携推進協議会幹事会をにかほ市役所象潟庁舎で開催しました。

はじめに、須田正彦にかほ市副市長、半澤彰浩生活クラブ神奈川専務理事、両共同代表よりご挨拶を頂きました。主な協議事項は、①夢風の稼働状況報告、②2015年度の交流企画の実施計画について、③生活クラブ東京・埼玉での特産品の取組総括と今後に向けて、④夢風ブランド品の企画に向けた2015年度の活動計画について、⑤芹田地区での加工用トマトの実験栽培の取り組みについて、⑥2014年度活動報告および2015年度活動方針、予算案についてなどです。また、にかほ市での自然エネルギーの開発状況について共有しました。

2015年度も、生活クラブ組合員とにかほの方々との交流や、産物の取組などを通じて、にかほ市と生活クラブとの連携がさらに広がるように、夢風ブランド開発生産者連絡会と連携して、活動をすすめていきます。



写真：

前列右から3人目、須田正彦副市長、左から2人目、半澤彰浩神奈川専務理事（グリーンファンド秋田代表理事）。

4月より、これまで総務部企画課で大変お世話になりました齋藤義行課長（後列右から2人目）が教育委員会に異動となり、後任の佐々木俊哉企画課長（後列右から4人目）が新しく幹事となりました。



## ●● 夢風ブランドものがたり ●●

2015年度、にかほ市の生産者と東京・神奈川・埼玉・千葉の組合員と一緒に、生活クラブオリジナルの夢風ブランド品づくりに取り組みます。

夢風ブランド品の企画の目的は、以下です。

- ①にかほ市と生活クラブとの地域間連携を広げていくための材として、夢風ブランド品を位置づけます。生活クラブ風車を縁として、にかほが生活クラブ風車を応援し、生活クラブがにかほを応援するような取り組みを表現する品目とします。
- ②組合員が夢風ブランド品の企画に係わり、生産者やにかほ市と交流することで、生活クラブ風車やにかほ市への共感を広げます。
- ③開発した品目は、将来的に単協やデポーの共同購入の定番品となることを目指します。

東京単協は伊藤製麺所さんの象潟うどん、神奈川単協は榊飛良泉本舗さんの日本酒、埼玉単協は佐藤勘六商店さんのいちじく、千葉単協は日南工業(株)さんの鱈しょっつるをテーマに材の学習や市場調査、食味評価などを行い、夢風ブランド品に向けた活動に取り組みます。そして、来年2016年2月には、活動発表会を行う予定です。

夢風ニュースでは、夢風ブランド企画に向けたそれぞれの活動の様子を1年間通じてお届けします。どうぞ、お楽しみに。